

文書変換ゲートウェイ(PDF変換ゲートウェイ) バージョンアップ内容(Ver3.05R03 → Ver3.06R00)

2004年10月13日
パナソニック ソリューションテクノロジー(株)

・文書変換ゲートウェイが Ver 3.06R00 にバージョンアップされました。
変更点は以下のとおりです。

新機能

fc_gw.exe(文書変換ゲートウェイ本体)

Microsoft® Office 2003 に対応しました。

改善内容

fc_gw.exe(文書変換ゲートウェイ本体)

処理を行っている最中に GlobalFamily サーバー停止やネットワーク障害等の通信異常が発生した場合、ゲートウェイを停止せずに待機状態に復旧する処理を追加しました。

ExtrImg2.exe(画像データテキスト抽出機能)

処理対象の画像データに対して自動回転処理を追加、OCR 認識精度を向上させました。
([PDF 内イメージからのテキスト抽出]にて“する”を選択している場合)

ExtrPDF2.exe(PDF テキスト抽出機能)

PDF に貼り込まれた画像データの抽出処理において、抽出イメージファイルのサイズが大きい場合は縦横比を約半分にする処理を追加、リソース使用量を減らす対策を加えました。
([PDF 内イメージからのテキスト抽出]にて“する”を選択している場合)

不具合修正

fc_gw.exe (文書変換ゲートウェイ本体)

「添付ファイルを PDF ファイルへ置き換える」の設定が選択されたフォルダーの中に PDF 変換の対象と対象外の添付ファイル (.doc と.html 等) を混在させた文書を登録した場合、文書変換処理後に対象外の添付ファイルが参照できなくなる不具合を修正しました。

ゲートウェイ終了処理の際、GlobalFamily サーバーからログアウトする処理にメモリー領域を不正に初期化していた不具合を修正しました。

ExtrExcl.exe、ExtrPpt.exe、ExtrHtml.exe、ExtrTaro.exe、ExtrWord.exe (テキスト抽出機能)

対象アプリケーション (Microsoft® Office 等) の自動起動/終了処理の際、使用したメモリー領域を正しく解放できず、連続稼動を繰り返すことでゲートウェイ本体が異常終了してしまう場合がある不具合を修正しました。

(上記のテキスト抽出に関するアプリケーションを Wrapper.exe に変更しました。)

※Microsoftは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
※その他記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。